



# Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363  
 例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F  
 会長 柳川和一郎 幹事 宮田敬之佑 会報委員長 土岐甚五郎

才107回 例会 昭和52年9月12日(月) 於海南商工会議所

1. 開 会 司 会 上 南 雅 延
2. ロータリーソング 「Sing Everyone Sing」
3. 出席率 87.88% 会員総数 33名 出席者数 29名  
 前回修正出席率 90.91%
4. ゲ ス ト 海南市長 明楽光三郎様
5. ビジター 北道善左衛門様(白浜R.C.) 上泰敏様(和歌山東R.C.)  
 小 嶋 護様(和歌山西R.C.) 小野田岩雄様、和佐勝様、  
 山西芳弥様 川口雅司様(以上海南R.C.)
6. メイキャップ 追田博司君(9/7 於海南R.C.)
7. 会長スピーチ

毎年9月15日を含む一週間をR.I.は世界理解週間として取り上げ、毎月その重要性を会員に理解させる様努力してきて居ります。例会の中に必ず取り入れる事との事ですので一言申し上げました。一寸古い事ですが6月28日付朝日新聞、天声人語欄に有田市のコレラがフィリピンからの感染説を発表した事から日、比感情がおかしいということがありました。これはフィリピン人が特に恥や体面を重んじる国民であるからだという記事と共に他国人とのおつきあいの中ではお互いの生活習慣の違いを知る事又知る努力をする事が如何に大切な事であるかという文章で強調していました。又文化人類学者の青柳真知子さんという人が南太平洋トンガでの生活習慣の中で貸す事は与える事で一度貸したものを返せという事は最大の恥辱であるという程の強い助け合いの精神が発達している事の実際を記事にしていたのを読みました。

このように世界理解週間と特に難しい事を考えなくても異国民族は異国の身近な生活習慣の違いを知り合う事そして知り合う努力をする事から理解を始めていて良いのではなからうかと思ひます。本日幸いな事に先に中国を親しく訪問されつづきにその発展ぶりを御感じ取りになって来られた私も明楽市長をお忙しい中お迎えして一衣帯水隣国中国を訪問した印象についてお話し下さる事になって居ります。期待して居ります。ビジターの方々も是非お聞き下さいませ。世界理解週間に因んでのスピーチと御紹介を終わります。有難う御座いました。

SERVE TO UNITE MANKIND 全人類を結びつけるために奉仕せよ

尚一つ二つ御報告を申し上げます。

SAA上南さんの祖母様に当たる方がおなくなりになりました。94才で天寿を全うされたといふお淋しい事と思います。葬儀は国吉の実家で行われました。つつしんで御冥福をお祈り致します。

明日13日ロータリー財団委員長会議が大阪 Loal Hotel で開かれる事になって居ります。松田さん御苦労様です。よろしく御願い致します。

以上御報告致します。

## 8. 幹事報告

### ○ 例会臨時変更通知

御坊R.C. 9/30(金)→9/27(火) PM6:30~8:00 紀州信用金庫屋上  
御坊南R.C. 9/27(火)→同日 PM6:00~ 紀州信用金庫4F会議室

○ 先週ゲストのスペイン人、オヴィディオ・ホセ・レイバ氏から礼状が参って居ります。

○ ロータリーの友の会よりカレンダーとダイアリーの紹介が参って居ります。カレンダーは会員全員に配布いたします。ダイアリー(卓上型)御入用の方は事務局まで申込んで下さい。

## 9. 卓 話 海南市長 明楽光三郎様

### 「中国を訪問した印象」

久しぶりに皆様の例会に出席させていただき皆様とお顔を合せる事が出来て非常にうれしく思います。私が中国を訪問したのは5月5日に大阪空港を出発しまして同月13日に帰って参りました。和歌山県地方自治体訪中友好団ということで私が団長で行って参りました。あちらでは先づ北京から南京、揚州、上海とこの4つの都市を訪問して視察、勉強をして参ったわけでございます。あちらではそれぞれの行政機関、学校病院、工場と訪問したわけですが必ず一席を催けて歓迎の辞をのべてくれます。こちらもそれに対して御礼の挨拶をするという具合ですがあちらの人は非常に皆さん政治に関心がある。その政治の話やら、施設の説明を聞いてそれを視て廻り、その後又集会を開いてくれて質問やら意見を聞くと言う具合です。広い中国大陸をたった二週間足らずの日程で廻ったわけで、その見聞は非常に皮相かも知れませんが、上辺だけの事だったかも知れませんがその所々で感心もし或は思ったよりも違ったと感じる点もありました。中国の一端を知り得たということも成果の一つでございますが、もう一つの大きな成果というのは一歩国を離れて政治体制の違う国からこの日本を眺めてみた場合、吾々国内に居る間はなかなか解らないことが他国に立ってみれば政治のあり方、社会のあり方等がよく解った事です。又海南市の行政についても客観的に眺められて感じるころがあったと云うことは私にとって非常に大きな収穫であったと思います。

中国に参りまして一番感じましたことは、中国は親日感が非常に深いことで、これはただ外交辞令ということではなしに一般大衆が本当に日本の国民と仲良くしたいという感情を表して参ります。一例を申し上げますと、小学校やら中学校へ行きましても必ずこういふことを申します。「日本は中国と一衣帯水、の隣国である。これは狭い東支那海を指して言うて居るのですが、中国と日本の交流は2,000年の歴史を持っている。故に今後も友好関係を保ちながらお互いに仲良くやって行くのは吾々の使命である」と。北京の胡宮という博物館に参りまして、

ここは中国中或は世界中より種々の古い歴史上重要なものが集めてあるのですがここに参りまして吾々が見学する際、満員の一般見学者が居るのですが案内人が「日本からやって来たお友達です、前を見易くしてあげて下さい」と申しますと陳列場の前をずっと開けて私達の見学をし易い様にしてくれます。又私達が一般道路でバスに乗って居りましたところを学校の生徒の団体が通りかかり私達を目ざとくみつけ皆で歓迎の歌を歌ってくれました。この様に一般大衆までもが日本と仲良くして行きたいという真の感情をあらはに表現して参ります。

私達の通訳についてくれた人が言うのですが「中国は貧しい国であるが中国には資源がある。そして今一番政策として押し進めて居る事は食糧の増産である。現在すでに中国では食糧に関しては自給自足出来る段階に達した」と申します。更に増産に励めば食糧は輸出出来る様になるが有り余った資源と食糧を日本へ輸出して日本から優秀な科学技術を輸入すればこれは両国のために一番好都合なことでないかともいうわけです。中国の政策として農業を一番手に考えて居るわけですがこういうことを申します。

「農業を基礎として工業を導き手として」自力更生力を傾けて居るわけです。華国峰体制の下で独力独歩自力更生、明るくたくましく前進して行く中国をみて来たわけです。その華国峰主席が「農業は大寨に学び工業は大慶に学ぶ」と申します。これは農業は大寨というところでやった方法を工業はあの油田地帯の大慶で行なわれている方法を取り入れて農業、工業を押し進めて行こうということなのです。その大慶ですが大慶に於ける労働者のあり方、思想、考え方はどうかと言いますと、大慶には労働者に対する守則というものがあってこれを「十不の守則」と申します。

1. 苦しみを恐れず 2. 死を辞さず 3. 名誉を求めず 4. 利益を追求せず 5. 仕事の条件の良悪を考えず 6. 操業時間の長短を気にせず 7. 報酬の多少を念頭におかず 8. 職務の高低を問題にせず 9. 身内と他人を差別せず 10. 先進者と落伍者とを区別せず

この十ヶ条の「不」の守則を守り学んで行なうと云うわけですがこれを守らなければ、反革命分子という烙印を押され中国では生活出来ないと云うことになるわけです。このことを私は日本の労働組合と比較して考えるのですが、中国は社会主義体制の国であります。日本とは体制の違いがありますがこの「十不」の守則を日本では考えられぬ様な守則を守って工業生産に励んで行こうという姿勢に深い感銘を受けたわけでありました。

それから中国の人は資源を非常に大事にすると云うことです。夜私の泊った天安門広場のすぐ横の北京飯店と云うホテルの12階の部屋から北京の街を眺めますと、まるで荒野のど真中の様で電気の光がほとんど見えません。この位電気を大事に使っているわけです。それから中国の人は、ライターを持っている人は見た事がない。皆マッチを持っている。煙草は吸いますがそのマッチの軸が揚子のように細い。これも木材資源の節約を考えているわけです。

電気の話が出ましたが、中国では冷房と云うことは考えられない。勿論テレビでも北京飯店にすら置いてありません。電気冷蔵庫、洗濯機等は勿論ありません。私の滞在したところ北京の日中は38度という暑さで、外へ出て帰って来てから冷たいビールでもと思って、注文するとビールはあるのですがそれも生温いビールです。日本のビールが恋しいなあという皆の声もあった位で中国一流のホテルです

ら冷蔵庫が充分に無い状態です。資源が充分ありながら資源を大事にする国柄に非常に感心させられました。勿論、一般大衆の生活レベルは非常に低くて吾々ではあんな生活に耐えられぬと思う様な状況ですが、家庭を訪問して話をしてみますと、人の心は大変和やかで明るく一軒の中で7人の家族が居るといふ家庭ですら何のわだかまりのない豊かな心を持って生活をしている様に見受けられました。年よりの人でも老後何の不安もなしに生活できると申して居りました。社会主義体制というのは人の心が非常に冷たいのではないかと思つて居りましたが全くそうではありませんでした。

それからもう一つ感心した事は治安が良いという事です。ホテルでも部屋の鍵をくれません。鍵をかけなくても大丈夫なのです。私はアメリカ、ヨーロッパと廻つて来て日本ほど用心の良い国はないと思つて居りましたが、今度の中国をみて認識を改めました。全く中国の治安の良い事には感心をいたしました。番犬も必要がないので街には犬も居りません。昔は一寸物を置いても盗られるという国であつたのに何故新中国はこのように治安が良くなったかといふとこれは教育の問題です。

教育には基本方針があつて

「国家のために、人民のために、社会のために、に奉仕できる人間に教育する」ということです。すべての教育がこれに沿つて徹底して行なわれて居ります。吾々ロータリーも奉仕を基本方針にしているわけですが、中国では特にやかましくこれを申します。それから教育の三本の柱に、智育、徳育、体育があります。徳育といふことは礼儀を正しく、目上を敬え、親に孝行をせよ、老人を大切に、人に親切に、といふ様な事を教えます。

(つづきは次週へ掲載)



## ニニニBOX

角谷勝司君 (9/9且来に新工場を上棟しました。)

中村雅行君 (先日日本マージャン連盟より二段の免状をいただきました。)

岸 義朗君 (昨日小唄の会を発足しました。同好の志あれば参加して下さい。)

上南雅延君 (祖母が94才の長寿をまっとうしご会葬ありがとうございました)

次回例会案内 № 108 昭和52年9月19日(月) PM 12:30~ 於海南商工会議所  
ゲスト 羯磨正信先生

№ 109 昭和52年9月26日(月) PM 12:30~ 於海南商工会議所  
ゲスト 紀陽銀行 池田調査部長

「ATTEND TO SERVE、 奉仕するために出席せよ